

四国ブロック会議（平成29年8月4日・愛媛県：東京第一ホテル松山）

参加者は約90名。はじめに主催者あいさつとして渡邊雅子愛媛専各副会長の開会宣言に続き、開催県を代表して河原成紀愛媛県会長が、日本の人口減少が引き起こす社会変化に対して、地元就職率が高い専修学校生が地域を活性化させる担い手となり続けるよう、専門学校への期待や役割はますます高くなるとあいさつを述べた。

次に、岡本比呂志全専各連副会長が来賓あいさつとして、専門職大学創設の意義とともに、これからも専修学校等における職業教育をより一層推進していくための決意を述べた。

続いて、中村時広愛媛県知事、野志克仁松山市長が来賓祝辞を述べた後、来賓紹介が行われた。

その後、廣野宏正文部科学省専修学校教育振興室室長が行政説明を行い、配布資料の「これからの専修学校教育の振興のあり方について（報告）」から基本的な方向性、具体的な施策を述べ、人材養成、質保証・向上、学習環境の観点から各々特色化・魅力化、高度化・改革支援をポイントに推進させていくと述べた。次に筒井諒太郎文部科学省専修学校教育振興室専修学校第一係長が、平成29年度専修学校関係予算・税制、授業料減免支援についての効果、職業実践専門課程における平成28実態アンケートを例に、情報公開の充実について、継続した連携の協力を求めた。つぎの『「これからの専修学校教育の振興のあり方」を受けての意見交換会』では、文部科学省、各県会長等が登壇し、パネルディスカッション形式で主に修学支援について、各県事例も交え議論が交わされ、全体会議が終了した。

休憩後、全専各連活動報告として岡本比呂志全専各連副会長から専門職大学・短期大学制度創設のこれまでの経緯、設置基準等のポイント、今後の対応等についての説明、全専各連事務局から活動状況報告が行われ、今後も専修学校振興策を充実・改善していくことを述べた。つぎに各県行政報告・活動報告が続けて行われ、各県の助成状況、進路フェアなどの活動事例の説明が行われた。その後、参議院議員赤池誠章参議院文教科学委員会委員長が駆けつけ、国政報告として平成29年度専修学校振興予算、専門職大学の創設、職業実践専門課程の効果、課題等を述べ、更なる職業教育振興策についての決意を述べた。

最後に大平康喜香川県会長からの次期開催県あいさつに続き、岡豊愛媛県副会長が閉会の言葉を述べ、大会を終了した。その後、情報交換会が行われ、全日程が終了した。